



2025年度実施茨城県公立学校教員選考試験第1次試験問題の誤りについて

2025年5月11日（日）に実施しました、令和7年度実施茨城県公立学校教員選考試験の専門教科・科目において、2問の問題に誤りがありましたので、お知らせいたします。

なお、この2問につきましては、受験者全員の解答を正解といたします。

記

1 中学校「国語」（マークシート式）

○問題番号：中学校「国語」第5問 3 26

○誤り内容：漢文の文章中、「レ」点を付すべきところを、一二点の「一」と誤記した。

【誤】	【正】
不 _レ 夫 _レ 逆 _{ニハ} 太 _レ 小 _{ニハ} 山 _ハ 流 _ニ 不 _レ 所 _一 辞 _{ニセ} 以 _一 壤 _ニ 成 _一 石 _{一ヲ} 大 _一 江 _一 也。 海 _ハ	不 _レ 夫 _レ 逆 _{ニハ} 太 _レ 小 _{ニハ} 山 _ハ 流 _ニ 不 _レ 所 _一 辞 _{ニセ} 以 _一 壤 _ニ 成 _レ 石 _{一ヲ} 大 _一 江 _一 也。 海 _ハ

○対応：選択肢cに、漢文の文章中の誤記のあった部分の内容が含まれるため、受験者全員の解答を正解とし、全員に10点を与える。

本文の内容に当てはまるものとして、最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- a 齊の桓公は謁見を乞う有能な人材のために宮中の庭に篝火を用意したが、一年たっても誰もやって来るものはいなかった。
- b 東部の田舎者は自分の才能が傑出していると思っていたわけではないが、賢君ならば何らかの職には就けてくれるだろうと考えた。
- c 泰山の故事や長江の例はどれだけ成長に時を要するのかの喩えで、大国になるための要諦を齊の桓公はきちんと理解した。
- d 桓公は臣下の話をよく聞いて無理のない政治を行ったので、周囲から有能な人材が齊の国に群がり集まった。
- e 詩経に書かれているところの強国への道筋は、時をかけ人を養い手順に従って物事を無理なく行っていくことであった。

※適切な選択肢：a

2 中学校「国語」及び高等学校「国語」【共通問題】（マークシート式）

○問題番号：中学校 「国語」第4問 1

18

高等学校「国語」第3問 2

20

○誤り内容：「いひしなれねば」の文法的な説明として最も適切なものを選ぶ問題で、適切な選択肢がない。

○対応：受験者全員の解答を正解とし、中学校「国語」については、全員に10点を与える。
高等学校「国語」については、全員に7点を与える。

傍線部（中学校は傍線部①、高等学校は傍線部②）「いひしなれねば」の文法的な説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

- a 四段活用動詞「言ふ」の連用形＋過去の助動詞「き」の連体形＋断定の助動詞「なり」の已然形＋打消の助動詞「ず」の未然形＋接続助詞
- b 四段活用動詞「言ふ」の連用形＋過去の助動詞「き」の連体形＋四段活用の動詞「慣る」の未然形＋打消の助動詞「ず」の未然形＋接続助詞
- c 四段活用動詞「言ふ」の連用形＋強意の副助詞「し」＋四段活用の動詞「慣る」の未然形＋打消の助動詞「ず」の未然形＋接続助詞
- d 四段活用動詞「言ふ」の連用形＋過去の助動詞「き」の連体形＋伝聞・推定の助動詞「なり」の已然形＋打消の助動詞「ず」の未然形＋接続助詞
- e 四段活用動詞「言ふ」の連用形＋強意の副助詞「し」＋断定の助動詞「なり」の已然形＋打消の助動詞「ず」の未然形＋接続助詞

※適切な文法的な説明

四段活用動詞「言ふ」の連用形＋強意の副助詞「し」＋下二段活用の動詞「慣る」の未然形＋打消の助動詞「ず」の已然形＋接続助詞「ば」

【本資料についての問い合わせ先】

教育庁学校教育部教育改革課 採用担当 野尻 TEL 029-301-5208